

平成25年度

御殿場市公営企業会計決算審査意見書

上水道事業会計

工業用水道事業会計

御殿場市監査委員

26 御 監 第 145 号  
平成 26 年 8 月 26 日

御殿場市長 若 林 洋 平 様

御殿場市監査委員 鈴木 健  
御殿場市監査委員 稲葉 元也

平成 25 年度御殿場市各種会計歳入歳出決算  
及び基金運用状況並びに平成 25 年度御殿場市  
公営企業会計決算審査意見の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項及び同法第 241 条第 5 項の規定により、審査に付された平成 25 年度御殿場市各種会計(一般会計及び 9 特別会計)歳入歳出決算及び附属書類、基金運用状況書類並びに地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された平成 25 年度御殿場市公営企業会計(上水道事業会計、工業用水道事業会計)決算と関係書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

## 公 営 企 業 会 計

第 1 審 査 の 対 象	.....	1 頁
第 2 審 査 の 期 間	.....	1
第 3 審 査 の 方 法	.....	1
第 4 審 査 の 結 果	.....	1
第 5 審 査 の 概 要	.....	1

### I 上 水 道 事 業 会 計

1 決 算 の 概 要 及 び 総 括 意 見	.....	3
2 業 務 の 状 況	.....	5
3 予 算 の 執 行 状 況	.....	6
4 経 営 成 績	.....	11
5 財 政 状 態	.....	14
付 表	.....	17

### II 工 業 用 水 道 事 業 会 計

1 決 算 の 概 要 及 び 総 括 意 見	.....	25
2 業 務 の 状 況	.....	26
3 予 算 の 執 行 状 況	.....	27
4 経 営 成 績	.....	30
5 財 政 状 態	.....	32
付 表	.....	35

# 公營企業會計

# 平成25年度 御殿場市公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

平成25年度 御殿場市上水道事業会計決算

平成25年度 御殿場市工業用水道事業会計決算

## 第2 審査の期間

平成26年6月17日から8月25日まで

## 第3 審査の範囲及び方法

審査に付された上水道、工業用水道両事業会計の決算報告書、財務諸表(損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書、貸借対照表)及びこれらに関する附属書類を審査した。

審査にあたっては、これらの決算書類が地方公営企業関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを確認し、また、例月現金出納検査の結果を参考としながら、関係職員から説明を聴取し、質問を加えて審査した。

なお、貯蔵品についても実地に検査した。

## 第4 審査の結果

両事業会計の決算報告書、財務諸表等はいずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数及び会計記録は正確であり、かつ経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

## 第5 審査の概要

以下、予算の執行状況、経営成績などの審査の概要は後述のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、執行率は 99.95% ~ 99.99%の場合 99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 消費税については、「3 予算の執行状況」の金額には消費税を含んでいるが、「4 経営成績」及び「5 財政状態」の金額には消費税を含んでいない。

# 上水道事業会計

# I 上水道事業会計

## 1 決算の概要及び総括意見

### (1) 決算の概要

業務実績をみると、普及状況は、行政区域内人口 89,193人に対し現在給水人口は 84,772人で、普及率は 95.0%と前年度に比べ 0.3ポイント下回っている。給水状況は、年間総配水量 12,000,796 m<sup>3</sup>、年間総有収水量 10,008,868m<sup>3</sup>で、有収率は前年度と同じ 83.4%である。

経営状況をみると、収益面は、水道事業収益 1,380,200千円で、前年度に比べ 10,803千円(0.8%)増加している。このうち給水収益は 1,247,358円(対水道事業収益比 90.4%)で、前年度に比べ 3,589千円(0.3%)増加している。

一方で費用面は、水道事業費用 1,204,796千円で、前年度に比べ 20,500千円(1.7%)増加している。増加した主なものは、資産減耗費 51,328千円(647.5%)である。

以上の結果、本年度の上水道事業の損益収支は、前年度に比べ 9,697千円(5.2%)減少し、175,403千円の純利益を計上している。

なお、有収水量 1m<sup>3</sup>あたりの収益及び費用をみると、収益(供給単価)は 124.6円、費用(給水原価)は 113.9円で、販売収益は 10.7円となり、前年度に比べ 1.6円(13.0%)減少している。また供給単価率は 109.4%で、前年度に比べ 1.6ポイント下回っている。

資本的支出の状況をみると、建設改良費は 758,773千円(執行率 70.6%)で、本年度は市内全域にわたり配水管布設及び布設替工事を延長 3,275.7m実施し、このほか高根第2配水場、富士岡第2配水場築造、水道倉庫改築、配電盤、非常用発電機更新、取水ポンプ入替などを実施している。

固定資産購入費は 10,809千円で、給水車 1台の購入などに執行している。

企業債償還金 129,293千円は上水道事業企業債の元金償還に要した経費で、上水道事業企業債の未償還残高は 1,461,556千円となった。

### (2) 総括意見

本年度の上水道事業の状況は、普及状況・給水状況ともほぼ前年度と同等であり、給水収益が微増となっているものの、純利益は前年度に比べ 9,697千円(5.2%)減少し、供給単価率は前年度に比べ 1.6ポイント下回っている。

この要因は、主に富士岡第2配水場の解体等に伴う資産減耗費の伸びが水道事業費を増加させたことであるが、利益の縮小傾向は今後も続くことが予測される。

収益面では、本年度は給水収益が微増となったものの、現在給水人口及び年間総配水量は減少しており、水道料金については平成24年3月検針分から10%割引を継続して実施している。全国的な傾向と同様に当市においても給水人口の減少及び水需要の減少は避けることができず、給水収益は縮小していくことが見込まれている。

費用面では、老朽化する施設の整備及び水道管の布設替え、また、地震等の災害時に市民生活に必要な水を確保するため、配水池の耐震化、市街地への耐震管の布設等、継続的な整備が求められることから多額の費用の支出が見込まれている。

国は全国的な人口減少に伴う諸課題及び東日本大震災の経験を踏まえ、平成25年3月に新水道ビジョンを策定した。その内容は、50年後、100年後を見据えた水道の理想像を「安全」「強靱」「持続」の観点から提示したものであり、これに基づき当市は平成25年度に「御殿場市水道ビジョン」の改訂を行った。当市の新水道ビジョンでは、当面は10年後を見据え、地域水道ビジョンにおける5つの政策課題（①安心、②安定、③持続、④環境、⑤国際）について検討し、見直しを進め継続していくことにより、国が掲げる新水道ビジョンの達成に繋がるものとしている。

清廉で良質な水を、これからも市民の皆様に安心・安定して供給していくための水道事業の運営が上水道事業の責務である。新水道ビジョンに掲げた目標を実現するための施策を着実に実施することを望む。

## 2 業務の状況 (付表第4表 業務実績比較表 24頁)

### (1) 上水道の普及状況・給水状況

上水道の普及状況及び給水状況は、次のとおりである。

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増減率(%)
普及 状況	行政区域内人口 (人)	89,193	89,318	△ 125	△ 0.1
	現在給水人口 (人)	84,772	85,087	△ 315	△ 0.4
	普及率 (%)	95.0	95.3	△ 0.3	—
給水 状況	給水戸数 (戸)	35,238	35,043	195	0.6
	年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	12,000,796	12,001,261	△ 465	△ 0.0
	年間総有収水量 (m <sup>3</sup> )	10,008,868	10,006,260	2,608	0.0
	有収率 (%)	83.4	83.4	0.0	—

- ① 行政区域内人口 89,193人に対し、現在給水人口は 84,772人で、普及率は 95.0%となり、前年度に比べ 0.3ポイント下回っている。
- ② 給水戸数は 35,238戸で、前年度に比べ 195戸(0.6%)の増加となった。  
年間総配水量は 12,000,796m<sup>3</sup>、年間総有収水量は 10,008,868m<sup>3</sup>で、有収率は前年度と同率の 83.4%である。

### (2) 上水道施設の利用状況

上水道施設の利用状況は、次のとおりである。

(単位:m<sup>3</sup>・%)

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増 減 率
施設 利用 状況	1日最大配水量 A	38,110	36,042	2,068	5.7
	1日平均配水量 B	32,879	32,880	△ 1	△ 0.0
	1日配水能力 C	42,500	42,500	0	—
	施設利用率 B/C	77.4	77.4	0.0	—
	負荷率 B/A	86.3	91.2	△ 4.9	—
	最大稼働率 A/C	89.7	84.8	4.9	—

- ① 施設利用率(配水能力に対する平均配水量の比率で、水道施設の経済性を総括的にみる)は前年度と同率の 77.4%である。
- ② 負荷率(最大配水量に対する平均配水量の比率で、施設が年間を通じて有効に使用されているかをみる)は 86.3%で、前年度に比べ 4.9ポイント下回っている。
- ③ 最大稼働率(配水能力に対する最大配水量の比率で、最大需要期における施設の活用状況をみる)は 89.7%で、前年度に比べ 4.9ポイント上回っている。

### 3 予算の執行状況 (付表第1表 予算執行状況 18頁)

本年度の予算及び決算の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出 (消費税込み)

① 収益的収入の状況は、次のとおりである。

収益的収入の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年 度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	収入率			
営 業 収 益	1,398,562,000	1,437,157,650	102.8	1,418,617,566	18,540,084	1.3
給 水 収 益	1,269,579,000	1,309,726,180	103.2	1,305,957,820	3,768,360	0.3
そ の 他 営 業 収 益	128,983,000	127,431,470	98.8	112,659,746	14,771,724	13.1
営 業 外 収 益	8,260,000	9,284,855	112.4	14,749,432	△ 5,464,577	△ 37.0
受 取 利 息	7,740,000	8,138,290	105.1	7,035,982	1,102,308	15.7
雑 収 益	520,000	1,146,565	220.5	7,713,450	△ 6,566,885	△ 85.1
特 別 利 益	0	11,590	—	1,432,499	△ 1,420,909	△ 99.2
固 定 資 産 売 却 益	0	0	—	1,422,069	△ 1,422,069	皆減
過 年 度 損 益 修 正 益	0	11,590	—	10,430	1,160	11.1
合 計	1,406,822,000	1,446,454,095	102.8	1,434,799,497	11,654,598	0.8

決算額は 1,446,454千円で、前年度に比べ 11,655千円(0.8%)増加している。

予算額に対する収入率は 102.8%で、前年度に比べ 2.5ポイント上回っている。

決算額の主なものは、給水収益 1,309,726千円(構成比 90.6%)である。

② 収益的支出の状況は、次のとおりである。

収益的支出の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	執行率			
営 業 費 用	1,275,320,000	1,167,366,627	91.5	1,141,815,668	25,550,959	2.2
原水・配水 及び給水費	529,192,000	418,578,618	79.1	442,680,015	△ 24,101,397	△ 5.4
総 係 費	178,472,000	157,416,210	88.2	159,373,881	△ 1,957,671	△ 1.2
減 価 償 却 費	544,380,000	531,583,140	97.6	531,797,591	△ 214,451	△ 0.0
資 産 減 耗 費	23,221,000	59,766,506	257.4	7,935,435	51,831,071	653.2
その他営業費用	55,000	22,153	40.3	28,746	△ 6,593	△ 22.9
営 業 外 費 用	79,479,000	71,815,544	90.4	85,867,360	△ 14,051,816	△ 16.4
企 業 債 利 息	53,237,000	53,236,694	99.9	58,399,300	△ 5,162,606	△ 8.8
一時借入金利息	42,000	0	—	0	0	—
雑 支 出	1,200,000	265,650	22.1	196,560	69,090	35.1
消 費 税	25,000,000	18,313,200	73.3	27,271,500	△ 8,958,300	△ 32.8
特 別 損 失	4,200,000	3,639,889	86.7	2,430,240	1,209,649	49.8
過年度損益修正損	4,200,000	3,639,889	86.7	2,430,240	1,209,649	49.8
予 備 費	30,000,000	0	—	0	0	—
合 計	1,388,999,000	1,242,822,060	89.5	1,230,113,268	12,708,792	1.0

決算額は 1,242,822千円で、前年度に比べ 12,709千円(1.0%)増加している。

予算額に対する執行率は 89.5%で、前年度に比べ 0.3ポイント下回っている。

決算額の主なものは、減価償却費 531,583千円(構成比 42.8%)、原水・配水及び給水費 418,579千円(同 33.7%)、総係費 157,416千円(同 12.6%)である。

予備費(議決予算額 30,000千円)は、本年度は執行がなかった。

(2) 資本的収入及び支出（消費税込み）

① 資本的収入の状況は、次のとおりである。

資本的収入の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年 度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	収入率			
他 会 計 負 担 金	7,080,000	3,021,162	42.7	3,444,238	△ 423,076	△ 12.3
工 事 負 担 金	2,000,000	0	0.0	236,250	△ 236,250	皆減
国 庫 ( 県 ) 補 助 金	22,191,000	21,880,000	98.6	0	21,880,000	皆増
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0	—	29,291	△ 29,291	皆減
合 計	31,271,000	24,901,162	79.6	3,709,779	21,191,383	571.2

決算額は 24,901千円で、前年度に比べ 21,191千円(571.2%)増加している。  
 予算額に対する収入率は 79.6%で、前年度に比べ 48.3ポイント上回っている。

資本的収入額が前年度に比べ増大した要因は、配水池耐震化事業及び車載用給水容器整備事業に係る県補助金があったことである。

他会計負担金等は、事業別に次のとおり充当している。

- ・ 他会計負担金 3,021千円は、建設改良費に対し以下のとおり充当している。  
 (拡張事業費 1,716千円 老朽管更新事業費 1,305千円)
- ・ 国庫(県)補助金 21,880千円は、建設改良費に対し以下のとおり充当している。  
 (拡張事業費 20,000千円、施設費 1,880千円)

② 資本的支出の状況は、次のとおりである。

資本的支出の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年 度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	執行率			
建 設 改 良 費	1,075,193,000	758,772,864	70.6	457,524,040	301,248,824	65.8
建設改良費	204,190,000	133,334,775	65.3	111,231,225	22,103,550	19.9
拡張事業費	775,637,000	539,987,029	69.6	321,683,766	218,303,263	67.9
老朽管更新事業費	82,760,000	74,642,400	90.2	22,822,537	51,819,863	227.1
施設費	12,606,000	10,808,660	85.7	1,786,512	9,022,148	505.0
企 業 債 償 還 金	129,293,000	129,292,702	99.9	128,509,462	783,240	0.6
企業債償還金	129,293,000	129,292,702	99.9	128,509,462	783,240	0.6
合 計	1,204,486,000	888,065,566	73.7	586,033,502	302,032,064	51.5

決算額は 888,066千円で、前年度に比べ 302,032千円(51.5%)増加している。

予算額に対する執行率は 73.7%で、前年度に比べ 1.4ポイント上回っている。

決算額の主なものは、拡張事業費 539,987千円(構成比 60.8%)、建設改良費 133,335千円(同 15.0%)、企業債償還金 129,293千円(同 14.6%)である。

資本的支出額が前年度に比べ増大した要因は、主に高根第2配水場築造工事及び電気設備工事、水道倉庫改築工事等による拡張事業費の増加である。

企業債償還金(元金)は 129,293千円で、前年度に比べ 783千円(0.6%)増加している。

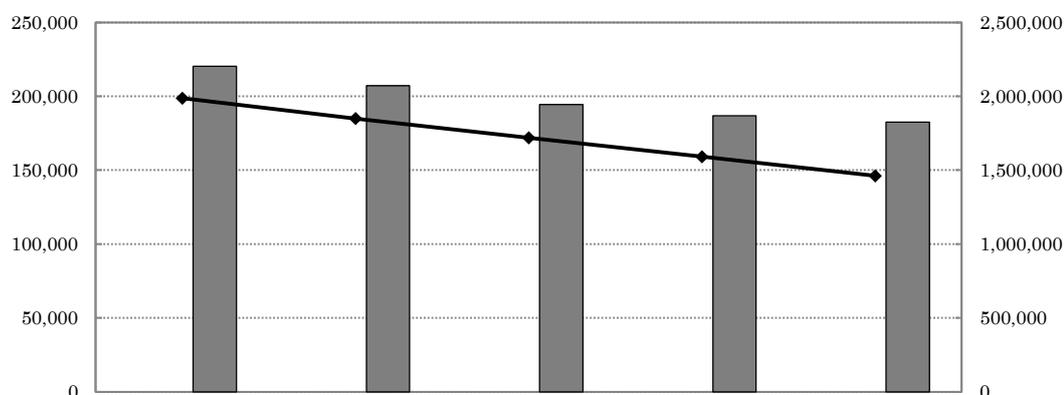
なお、最近5か年の企業債借入額、償還額、未償還残高(利子を含む)の推移及び今後5か年の償還計画は、次のとおりである。

(単位:円)

年度	借入額	償還額			未償還残高
		元金	利息	計	
21	0	143,895,950	76,370,444	220,266,394	1,987,219,178
22	0	137,302,177	69,773,113	207,075,290	1,849,917,001
23	0	130,558,482	63,795,204	194,353,686	1,719,358,519
24	0	128,509,462	58,399,300	186,908,762	1,590,849,057
25	0	129,292,702	53,236,694	182,529,396	1,461,556,355
26		123,404,168	48,251,978	171,656,146	1,338,152,187
27		128,080,569	43,575,577	171,656,146	1,210,071,618
28		128,897,347	38,760,835	167,658,182	1,081,174,271
29		128,625,384	33,997,544	162,622,928	952,548,887
30		128,391,964	29,294,836	157,686,800	824,156,923

・企業債借入額  
・元利償還額

・未償還残高



	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
企業債借入額(千円)	0	0	0	0	0
元利償還額(千円)	220,266	207,075	194,354	186,909	182,529
未償還残高(千円)	1,987,219	1,849,917	1,719,359	1,590,849	1,461,556

③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 863,164千円は、次の資金により補てんしている。

・ 過年度分損益勘定留保資金	193,553千円
・ 当年度分損益勘定留保資金	512,192千円
・ 減債積立金	129,293千円
・ 消費税等資本的収支調整額	28,126千円

④ 事業費ごとの工事の主なものは、次のとおりである。

建設改良費

---

・ 杉名沢第2水源取水ポンプ入替及び浚渫工事	12,263千円
・ 滝ヶ原配水場非常用発電機更新工事	12,197千円
・ 馬見塚配水場及び北畑水源配電盤更新工事	11,550千円

拡張事業費

---

・ 高根第2配水場築造工事	240,815千円
・ 高根第2配水場電気設備工事	41,276千円
・ 水道倉庫改築工事	34,814千円
・ 市道3194号線外2路線配水管布設工事	21,481千円
・ 市道3545号線配水管布設工事	19,997千円
・ 市道3416号線配水管布設工事	12,771千円

老朽管更新事業費

---

・ 県道沼津小山線、御殿場箱根線交差点配水管布設替工事	31,446千円
・ 市道1826号線配水管布設替工事	11,837千円
・ 県道沼津小山線1工区配水管布設替工事	10,337千円

(3) その他の予算の執行状況

- ① 業務の予定量は、給水戸数及び年間総配水量の増減はあるものの、建設改良事業は予定量内の執行と認められた。
- ② 予算第6条に定められた一時借入金については、借入がなかった。
- ③ 予算第8条に定められた議会の議決を経なければ流用することのできない経費(職員給与費、交際費)の流用はなかった。
- ④ 予算第9条に定められた棚卸資産の購入限度額 3,336千円に対し、購入済額は 2,176千円で限度額以内の執行であった。

#### 4 経営成績（付表第2表 比較損益計算書 20頁）

##### (1) 経営状況（消費税抜き）

経営状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較 増 減	増 減 率
経 常 収 益	1,380,188,809	1,367,964,543	12,224,266	0.9
営 業 収 益	1,370,946,110	1,353,231,115	17,714,995	1.3
営 業 外 収 益	9,242,699	14,733,428	△ 5,490,729	△ 37.3
経 常 費 用	1,201,329,908	1,181,981,881	19,348,027	1.6
営 業 費 用	1,147,643,655	1,123,232,661	24,410,994	2.2
営 業 外 費 用	53,686,253	58,749,220	△ 5,062,967	△ 8.6
営 業 利 益	223,302,455	229,998,454	△ 6,695,999	△ 2.9
経 常 利 益	178,858,901	185,982,662	△ 7,123,761	△ 3.8
特 別 利 益	11,039	1,432,003	△ 1,420,964	△ 99.2
特 別 損 失	3,466,561	2,314,515	1,152,046	49.8
当 年 度 純 利 益	175,403,379	185,100,150	△ 9,696,771	△ 5.2

（注） 営業利益 = 営業収益 - 営業費用

経常利益 = 経常収益 - 経常費用

当年度純利益 = 経常利益 + 特別利益 - 特別損失

##### ① 営業収益

営業収益は 1,370,946千円で、前年度に比べ 17,715千円(1.3%)増加している。

ア 給水収益は 1,247,358千円で、前年度に比べ 3,589千円(0.3%)増加している。

給水収益の内容は水道料金であり、水道事業収益の 90.4%を占める。

イ その他営業収益は 123,588千円で、前年度に比べ 14,126千円(12.9%)増加している。

これは、消費税増税を見越した住宅建設等の増加に伴う水道利用加入金の増加が主な要因である。

##### ② 営業外収益

営業外収益は 9,243千円で、前年度に比べ 5,491千円(37.3%)減少している。

これは、前年度に雑収益として落雷による水道施設（鍋有沢水源水中ポンプほか）破損に伴う火災保険金の収入があったことが主な要因である。

##### ③ 営業費用

営業費用は 1,147,644千円で、前年度に比べ 24,411千円(2.2%)増加している。

ア 原水・配水及び給水費は 403,634千円で、前年度に比べ 24,222千円(5.7%)減少している。

これは、電気料金の値上げに伴う動力費の増加があったものの、修繕費の執行が少なかつ

たことが主な要因である。

イ 総係費は 153,149千円で、前年度に比べ 2,473千円(1.6%)減少している。

ウ 減価償却費は 531,583千円で、前年度に比べ 214千円(0.0%)減少している。

エ 資産減耗費は 59,255千円で、前年度に比べ 51,328千円(647.5%)増加している。

これは、主に富士岡第2配水場解体撤去や配水管等の除却に伴う固定資産除却費の増加によるものである。

④ 営業外費用

営業外費用は 53,686千円で、前年度に比べ 5,063千円(8.6%)減少している。

⑤ 特別利益

特別利益は 11千円で、前年度に比べ 1,421千円(99.2%)減少している。

これは、前年度に固定資産売却益として国道138号交通安全施設等整備工事に伴う仁杉配水池用地土地売却代金の収入があったことが主な要因である。

⑥ 特別損失

特別損失は 3,467千円で、前年度に比べ 1,152千円(49.8%)増加している。

経常収益が 1,380,189千円、経常費用が 1,201,330千円で、経常利益は 178,859千円となり、特別利益 11千円及び特別損失 3,467千円があるため、当年度純利益は 175,403千円である。当年度純利益は前年度に比べ 9,697千円(5.2%)減少している。

(2) 性質別費用の状況（消費税抜き）

費用を性質別に分類して前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比較増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
職員給与費	109,793,558	9.1	116,922,281	9.9	△ 7,128,723	△ 6.1
修繕費	128,362,123	10.7	185,695,639	15.7	△ 57,333,516	△ 30.9
路面復旧費	8,671,560	0.7	5,127,197	0.4	3,544,363	69.1
量水器取替費	5,951,150	0.5	6,580,100	0.5	△ 628,950	△ 9.6
動力費	111,614,268	9.3	92,919,378	7.8	18,694,890	20.1
薬品費	1,936,290	0.2	1,939,140	0.2	△ 2,850	△ 0.1
委託料	134,281,877	11.1	117,549,706	9.9	16,732,171	14.2
材料費	5,955,287	0.5	7,803,479	0.7	△ 1,848,192	△ 23.7
減価償却費	531,583,140	44.1	531,797,591	44.9	△ 214,451	△ 0.0
資産減耗費	59,255,173	4.9	7,927,548	0.7	51,327,625	647.5
支払利息	53,236,694	4.4	58,399,300	4.9	△ 5,162,606	△ 8.8
その他の経費	54,155,349	4.5	51,635,037	4.4	2,520,312	4.9
合計	1,204,796,469	100.0	1,184,296,396	100.0	20,500,073	1.7

性質別費用の総額は 1,204,796千円で、前年度に比べ 20,500千円(1.7%)増加している。

性質別費用の主なものは、減価償却費 531,583千円(構成比 44.1%)、委託料 134,282千円(同 11.1%)、修繕費 128,362千円(同 10.7%)、動力費 111,614千円(同 9.3%)、職員給与費 109,794千円(同 9.1%)である。

増加した主なものは、資産減耗費 51,328千円(647.5%)、動力費 18,695千円(20.1%)、委託料 16,732千円(14.2%)である。

減少した主なものは、修繕費 57,334千円(30.9%)、職員給与費 7,129千円(6.1%)である。

(3) 有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益及び費用（消費税抜き）

有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益(供給単価)及び費用(給水原価)について前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度	比 較 増 減	増 減 率
収益(供給単価) A	124.6	124.3	0.3	0.2
費用(給水原価) B	113.9	112.0	1.9	1.7
うち 給 与 費	10.9	11.9	△ 1.0	△ 8.4
うち 資 本 費	58.4	59.0	△ 0.6	△ 1.0
販 売 収 益 A-B	10.7	12.3	△ 1.6	△ 13.0
供 給 単 価 率 A/B	109.4	111.0	△ 1.6	—

(注) 収益(供給単価) = 給水収益 / 有収水量

費用(給水原価) = [総費用 - (受託工事費 + 他会計負担金 + 飲料水施設負担金 + 水源管理負担金 + 配水管等移設補償費)] / 有収水量

供給単価率 = 収益(供給単価) / 費用(給水原価)

(供給単価と給水原価の関係をみる。100%以上がよい。)

## 5 財政状態（付表第3表 比較貸借対照表 22頁、付表第5表 経営分析比較表 24頁）

### (1) 資産

資産の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減額	増減率
固 定 資 産	15,027,458,418	14,979,654,153	47,804,265	0.3
有 形 固 定 資 産	15,027,265,718	14,879,467,536	147,798,182	1.0
無 形 固 定 資 産	192,700	192,700	0	—
投 資	0	99,993,917	△ 99,993,917	皆減
流 動 資 産	3,842,741,873	3,871,295,453	△ 28,553,580	△ 0.7
現 金 預 金	3,760,941,562	3,654,004,017	106,937,545	2.9
未 収 金	77,735,089	213,173,450	△ 135,438,361	△ 63.5
貯 蔵 品	4,065,222	4,117,986	△ 52,764	△ 1.3
資 産 合 計	18,870,200,291	18,850,949,606	19,250,685	0.1

資産の総額は 18,870,200千円で、前年度に比べ 19,251千円(0.1%)増加している。

資産の内容は、次のとおりである。

#### ① 固定資産

固定資産は 15,027,458千円で、前年度に比べ 47,804千円(0.3%)増加している。

これは、投資有価証券(5年国債)の満期償還による減少及び建設仮勘定の減少に対し、水道庁舎用地の市からの取得等による土地、建物等の増加が上回ったことによるものである。

#### ② 流動資産

流動資産は 3,842,742千円で、前年度に比べ 28,554千円(0.7%)減少している。

これは、定期預金の積増しがあったものの、営業未収金が前年度に比べ減少したことによるものである。

ア 未収金のうち上水道料金の未収額は 62,596千円で、前年度に比べ 136,599千円(68.6%)減少している。このうち過年度分は 6,289千円で、前年度に比べ 2,277千円(26.6%)減少している。

イ 不納欠損額は 3,463千円で、平成22年度上水道料金の未収金 174人分 325件を、民法第173条第1号の規定により不納欠損処分したものである。

不納欠損額は前年度に比べ 1,851千円(114.8%)増加している。

ウ 貯蔵品は 4,065千円で、前年度に比べ 53千円(1.3%)減少している。

## (2) 負債及び資本

負債及び資本の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比較増減額	増減率
固 定 負 債	505,942,884	493,268,348	12,674,536	2.6
修繕引当金	470,421,000	431,421,000	39,000,000	9.0
退職給与引当金	35,521,884	61,847,348	△ 26,325,464	△ 42.6
流 動 負 債	140,250,806	181,814,155	△ 41,563,349	△ 22.9
未払金	100,664,406	173,807,145	△ 73,142,739	△ 42.1
預り金	336,860	479,090	△ 142,230	△ 29.7
預り保証金	2,000,000	2,000,000	0	—
預り下水道使用料	35,528,500	5,354,840	30,173,660	563.5
預り下水道(農集)使用料	1,650,480	87,400	1,563,080	—
預り下水道(コミプラ)使用料	70,560	85,680	△ 15,120	△ 17.6
負債合計	646,193,690	675,082,503	△ 28,888,813	△ 4.3
資 本 金	6,861,961,826	6,861,961,826	0	—
自己資本金	5,400,405,471	5,271,112,769	129,292,702	2.5
借入資本金	1,461,556,355	1,590,849,057	△ 129,292,702	△ 8.1
剰 余 金	11,362,044,775	11,313,905,277	48,139,498	0.4
資本剰余金	8,234,180,376	8,211,251,555	22,928,821	0.3
利益剰余金	3,127,864,399	3,102,653,722	25,210,677	0.8
資本合計	18,224,006,601	18,175,867,103	48,139,498	0.3
負債・資本合計	18,870,200,291	18,850,949,606	19,250,685	0.1

負債の総額は 646,194千円で、前年度に比べ 28,889千円(4.3%)減少している。

負債の内容は次のとおりである。

### ① 固定負債

固定負債は 505,943千円で、前年度に比べ 12,675千円(2.6%)増加している。

これは、退職給与引当金の減少を修繕引当金の増加が上回ったためである。

### ② 流動負債

流動負債は 140,251千円で、前年度に比べ 41,563千円(22.9%)減少している。

これは、主に未払金の減少によるものである。

資本の総額は 18,224,007千円で、前年度に比べ 48,139千円(0.3%)増加している。

資本の内容は次のとおりである。

③ 資本金

資本金は 6,861,962千円で、前年度と同額である。

これは、企業債の返還により借入資本金を減額し、同額を自己資本金としたものである。

④ 剰余金

剰余金は 11,362,045千円で、前年度に比べ 48,139千円(0.4%)増加している。

ア 資本剰余金は 8,234,180千円で、前年度に比べ 22,929千円(0.3%)増加している。

増加した主なものは、国県補助金 17,675千円(0.6%)である。

イ 利益剰余金は 3,127,864千円で、前年度に比べ 25,211千円(0.8%)増加している。

増加したものは、建設改良積立金 25,200千円(1.4%)、災害準備積立金 10,000千円(14.3%)である。

減少した主なものは、当年度未処分利益剰余金 9,697千円(5.2%)である。

(3) 経営分析比率

財務比率の主な指標は、次のとおりである。

(単位:%)

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
自己資本構成比率	88.8	88.0	87.9
固定資産対長期資本比率	80.2	80.2	81.3
流動比率	2,739.9	2,129.3	2,685.9

(注) 自己資本構成比率 = 自己資本 / 総資本(負債資本合計) × 100

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 / 長期資本 × 100

流動比率 = 流動資産 / 流動負債 × 100

- ① 自己資本構成比率(総資本に対する自己資本の割合をみる。比率は高いほど経営の安定性が高い。)は 88.8%で、前年度に比べ 0.8ポイント上回っている。
- ② 固定資産対長期資本比率(固定資産の財源構成をみる。100%を超えた場合は過大投資の傾向にある。)は前年度と同率の 80.2%である。
- ③ 流動比率(企業の支払能力をみる。比率は高いほど良く、200%以上が適正である。)は 2,739.9%で、前年度に比べ 610.6ポイント上回っている。

## 上水道事業会計付表 目次

付表第1表	予 算 執 行 状 況	-----	18 頁
付表第2表	比 較 損 益 計 算 書	-----	20
付表第3表	比 較 貸 借 対 照 表	-----	22
付表第4表	業 務 実 績 比 較 表	-----	24
付表第5表	経 営 分 析 比 較 表	-----	24

付表第1表 予算執行状況

(1) 収益的収支

収入 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平 成 25 年 度				平 成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	収 入 率	決 算 額	構 成 比	収 入 率
営 業 収 益	1,398,562,000	1,437,157,650	99.4	102.8	1,418,617,566	98.9	99.6
給 水 収 益	1,269,579,000	1,309,726,180	90.6	103.2	1,305,957,820	91.0	101.0
そ の 他 営 業 収 益	128,983,000	127,431,470	8.8	98.8	112,659,746	7.9	86.0
営 業 外 収 益	8,260,000	9,284,855	0.6	112.4	14,749,432	1.0	201.4
受 取 利 息	7,740,000	8,138,290	0.5	105.1	7,035,982	0.5	103.4
雑 収 益	520,000	1,146,565	0.1	220.5	7,713,450	0.5	—
特 別 利 益	0	11,590	0.0	—	1,432,499	0.1	—
固 定 資 産 売 却 益	0	0	—	—	1,422,069	0.1	—
過 年 度 損 益 修 正 益	0	11,590	0.0	—	10,430	0.0	—
合 計	1,406,822,000	1,446,454,095	100.0	102.8	1,434,799,497	100.0	100.3

支出 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平 成 25 年 度				平 成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	執 行 率	決 算 額	構 成 比	執 行 率
営 業 費 用	1,275,320,000	1,167,366,627	93.9	91.5	1,141,815,668	92.8	91.1
原 水 ・ 配 水 及 び 給 水 費	529,192,000	418,578,618	33.7	79.1	442,680,015	36.0	85.4
総 係 費	178,472,000	157,416,210	12.6	88.2	159,373,881	13.0	88.9
減 価 償 却 費	544,380,000	531,583,140	42.8	97.6	531,797,591	43.2	98.2
資 産 減 耗 費	23,221,000	59,766,506	4.8	257.4	7,935,435	0.6	58.0
そ の 他 営 業 費 用	55,000	22,153	0.0	40.3	28,746	0.0	48.7
営 業 外 費 用	79,479,000	71,815,544	5.8	90.4	85,867,360	7.0	98.8
企 業 債 利 息	53,237,000	53,236,694	4.3	99.9	58,399,300	4.8	99.9
一 時 借 入 金 利 息	42,000	0	—	—	0	—	—
雑 支 出	1,200,000	265,650	0.0	22.1	196,560	0.0	16.4
消 費 税	25,000,000	18,313,200	1.5	73.3	27,271,500	2.2	99.9
特 別 損 失	4,200,000	3,639,889	0.3	86.7	2,430,240	0.2	93.5
過 年 度 損 益 修 正 損	4,200,000	3,639,889	0.3	86.7	2,430,240	0.2	93.5
予 備 費	30,000,000	0	—	—	0	—	—
合 計	1,388,999,000	1,242,822,060	100.0	89.5	1,230,113,268	100.0	89.8

## (2) 資本的収支

## 収入 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度				平成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	収 入 率	決 算 額	構 成 比	収 入 率
他 会 計 負 担 金	7,080,000	3,021,162	0.3	42.7	3,444,238	0.6	34.9
工 事 負 担 金	2,000,000	0	—	—	236,250	0.0	11.8
国 庫 ( 県 ) 補 助 金	22,191,000	21,880,000	2.5	98.6	0	—	—
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0	—	—	29,291	0.0	—
補 て ん 財 源	0	863,164,404	97.2	—	582,323,723	99.4	—
過年度分損益勘定留保資金	—	193,553,145	21.8	—	88,120,808	15.1	—
当年度分損益勘定留保資金	—	512,192,546	57.7	—	346,176,746	59.1	—
減 債 積 立 金	—	129,292,702	14.5	—	128,509,462	21.9	—
建 設 改 良 積 立 金	—	0	—	—	0	—	—
災 害 準 備 積 立 金	—	0	—	—	0	—	—
消費税等資本的収支調整額	—	28,126,011	3.2	—	19,516,707	3.3	—
合 計	31,271,000	888,065,566	100.0		586,033,502	100.0	

## 支出 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度				平成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	執 行 率	決 算 額	構 成 比	執 行 率
建 設 改 良 費	1,075,193,000	758,772,864	85.4	70.6	457,524,040	78.1	67.1
建 設 改 良 費	204,190,000	133,334,775	15.0	65.3	111,231,225	19.0	56.4
拡 張 事 業 費	775,637,000	539,987,029	60.8	69.6	321,683,766	54.9	75.9
老 朽 管 更 新 事 業 費	82,760,000	74,642,400	8.4	90.2	22,822,537	3.9	38.6
施 設 費	12,606,000	10,808,660	1.2	85.7	1,786,512	0.3	91.2
企 業 債 償 還 金	129,293,000	129,292,702	14.6	99.9	128,509,462	21.9	99.9
企 業 債 償 還 金	129,293,000	129,292,702	14.6	99.9	128,509,462	21.9	99.9
合 計	1,204,486,000	888,065,566	100.0	73.7	586,033,502	100.0	72.3

付表第2表 比較損益計算書

収 益 の 部						
区 分	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
営 業 収 益	1,370,946,110	99.3	1,353,231,115	98.8	17,714,995	1.3
給 水 収 益	1,247,358,271	90.4	1,243,769,372	90.8	3,588,899	0.3
そ の 他 営 業 収 益	123,587,839	8.9	109,461,743	8.0	14,126,096	12.9
営 業 外 収 益	9,242,699	0.7	14,733,428	1.1	△ 5,490,729	△ 37.3
受 取 利 息	8,138,290	0.6	7,035,982	0.5	1,102,308	15.7
雑 収 益	1,104,409	0.1	7,697,446	0.6	△ 6,593,037	△ 85.7
特 別 利 益	11,039	0.0	1,432,003	0.1	△ 1,420,964	△ 99.2
固 定 資 産 売 却 益	0	—	1,422,069	0.1	△ 1,422,069	皆減
過 年 度 損 益 修 正 益	11,039	0.0	9,934	0.0	1,105	11.1
合 計	1,380,199,848	100.0	1,369,396,546	100.0	10,803,302	0.8

(単位:円・%)

費用の部						
区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較 増 減	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
営 業 費 用	1,147,643,655	95.3	1,123,232,661	94.8	24,410,994	2.2
原水・配水及び給水費	403,634,300	33.5	427,856,493	36.1	△ 24,222,193	△ 5.7
総 係 費	153,148,889	12.7	155,622,283	13.1	△ 2,473,394	△ 1.6
減 価 償 却 費	531,583,140	44.2	531,797,591	44.9	△ 214,451	△ 0.0
資 産 減 耗 費	59,255,173	4.9	7,927,548	0.7	51,327,625	647.5
そ の 他 営 業 費 用	22,153	0.0	28,746	0.0	△ 6,593	△ 22.9
営 業 外 費 用	53,686,253	4.4	58,749,220	5.0	△ 5,062,967	△ 8.6
支 払 利 息	53,236,694	4.4	58,399,300	5.0	△ 5,162,606	△ 8.8
雑 支 出	449,559	0.0	349,920	0.0	99,639	28.5
特 別 損 失	3,466,561	0.3	2,314,515	0.2	1,152,046	49.8
過年度損益修正損	3,466,561	0.3	2,314,515	0.2	1,152,046	49.8
小 計	1,204,796,469	100.0	1,184,296,396	100.0	20,500,073	1.7
当 年 度 純 利 益	175,403,379	—	185,100,150	—	△ 9,696,771	△ 5.2
合 計	1,380,199,848	—	1,369,396,546	—	10,803,302	0.8

※金額は消費税を含まず

付表第3表 比較貸借対照表

資 産 の 部						
区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
固 定 資 産	15,027,458,418	79.6	14,979,654,153	79.5	47,804,265	0.3
有 形 固 定 資 産	15,027,265,718	79.6	14,879,467,536	79.0	147,798,182	1.0
土 地	676,712,307	3.6	548,820,198	2.9	127,892,109	23.3
建 物	553,896,226	2.9	486,862,332	2.6	67,033,894	13.8
構 築 物	12,450,832,053	66.0	12,422,582,150	65.9	28,249,903	0.2
機 械 及 び 装 置	1,116,539,350	5.9	1,089,210,787	5.8	27,328,563	2.5
車 両 運 搬 具	9,989,245	0.0	2,385,553	0.0	7,603,692	318.7
工 具、器 具 及 び 備 品	15,162,493	0.1	15,665,333	0.1	△ 502,840	△ 3.2
建 設 仮 勘 定	204,134,044	1.1	313,941,183	1.7	△ 109,807,139	△ 35.0
無 形 固 定 資 産	192,700	0.0	192,700	0.0	0	—
電 話 加 入 権	192,700	0.0	192,700	0.0	0	—
投 資	0	0.0	99,993,917	0.5	△ 99,993,917	皆減
投 資 有 価 証 券	0	—	99,993,917	0.5	△ 99,993,917	皆減
流 動 資 産	3,842,741,873	20.4	3,871,295,453	20.5	△ 28,553,580	△ 0.7
現 金 預 金	3,760,941,562	20.0	3,654,004,017	19.4	106,937,545	2.9
現 金	0	—	0	—	0	—
預 金	3,760,941,562	20.0	3,654,004,017	19.4	106,937,545	2.9
未 収 金	77,735,089	0.4	213,173,450	1.1	△ 135,438,361	△ 63.5
営 業 未 収 金	77,735,089	0.4	213,173,450	1.1	△ 135,438,361	△ 63.5
貯 蔵 品	4,065,222	0.0	4,117,986	0.0	△ 52,764	△ 1.3
資 産 合 計	18,870,200,291	100.0	18,850,949,606	100.0	19,250,685	0.1

(単位:円・%)

負債及び資本の部						
区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
負 債 合 計	646,193,690	3.4	675,082,503	3.6	△ 28,888,813	△ 4.3
固 定 負 債	505,942,884	2.7	493,268,348	2.6	12,674,536	2.6
修 繕 引 当 金	470,421,000	2.5	431,421,000	2.3	39,000,000	9.0
退 職 給 与 引 当 金	35,521,884	0.2	61,847,348	0.3	△ 26,325,464	△ 42.6
流 動 負 債	140,250,806	0.7	181,814,155	1.0	△ 41,563,349	△ 22.9
未 払 金	100,664,406	0.5	173,807,145	0.9	△ 73,142,739	△ 42.1
預 り 金	336,860	0.0	479,090	0.0	△ 142,230	△ 29.7
預 り 保 証 金	2,000,000	0.0	2,000,000	0.0	0	—
預 り 下 水 道 使 用 料	35,528,500	0.2	5,354,840	0.1	30,173,660	563.5
預 り 下 水 道 (農 集) 使 用 料	1,650,480	0.0	87,400	0.0	1,563,080	—
預 り 下 水 道 (コ ミ プ ラ) 使 用 料	70,560	0.0	85,680	0.0	△ 15,120	△ 17.6
資 本 合 計	18,224,006,601	96.6	18,175,867,103	96.4	48,139,498	0.3
資 本 金	6,861,961,826	36.4	6,861,961,826	36.4	0	—
自 己 資 本 金	5,400,405,471	28.6	5,271,112,769	28.0	129,292,702	2.5
借 入 資 本 金	1,461,556,355	7.8	1,590,849,057	8.4	△ 129,292,702	△ 8.1
剰 余 金	11,362,044,775	60.2	11,313,905,277	60.0	48,139,498	0.4
資 本 剰 余 金	8,234,180,376	43.6	8,211,251,555	43.5	22,928,821	0.3
国 県 補 助 金	3,081,560,568	16.3	3,063,885,177	16.2	17,675,391	0.6
受 贈 財 産 ・ 寄 附 金	1,409,093,207	7.5	1,406,270,888	7.5	2,822,319	0.2
他 会 計 負 担 金	1,823,510,112	9.6	1,820,488,950	9.6	3,021,162	0.2
繰 入 金	1,370,878,313	7.3	1,370,878,313	7.3	0	—
工 事 負 担 金	479,138,176	2.5	479,728,227	2.5	△ 590,051	△ 0.1
他 会 計 補 助 金	70,000,000	0.4	70,000,000	0.4	0	—
利 益 剰 余 金	3,127,864,399	16.6	3,102,653,722	16.5	25,210,677	0.8
減 債 積 立 金	1,004,570,796	5.3	1,004,863,498	5.3	△ 292,702	△ 0.0
利 益 積 立 金	0	—	0	—	0	—
建 設 改 良 積 立 金	1,867,890,224	9.9	1,842,690,074	9.8	25,200,150	1.4
災 害 準 備 積 立 金	80,000,000	0.4	70,000,000	0.4	10,000,000	14.3
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	175,403,379	1.0	185,100,150	1.0	△ 9,696,771	△ 5.2
負 債 ・ 資 本 合 計	18,870,200,291	100.0	18,850,949,606	100.0	19,250,685	0.1

付表第4表 業務実績比較表

区 分	平成 25 年 度			平成24年度	平成23年度
	業務量等	比較増減	増減率(%)		
行政区域内人口(人)	89,193	△ 125	△ 0.1	89,318	90,002
現在給水人口(人)	84,772	△ 315	△ 0.4	85,087	85,646
普及率(%)	95.0	△ 0.3	—	95.3	95.2
年間総配水量(m <sup>3</sup> )	12,000,796	△ 465	△ 0.0	12,001,261	12,218,102
年間総有収水量(m <sup>3</sup> )	10,008,868	2,608	0.0	10,006,260	10,141,398
一般用(m <sup>3</sup> )	10,005,991	3,244	0.0	10,002,747	10,138,212
公衆浴場用(m <sup>3</sup> )	2,877	△ 636	△ 18.1	3,513	3,186
有収率(%)	83.4	0.0	—	83.4	83.0
導送配水管延長(m)	490,844.4	2,118.4	0.4	488,726.0	487,258.6
職員数(人)	21	0	—	21	26

付表第5表 経営分析比較表

区 分		平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
施設利用率(%)		77.4	77.4	74.2	76.1	75.8
最大稼働率(%)		89.7	84.8	82.4	87.3	88.4
負荷率(%)		86.3	91.2	90.0	87.2	85.7
配水管使用効率(m <sup>3</sup> )		24.4	24.6	25.1	25.7	25.7
固定資産使用効率(m <sup>3</sup> )		8.0	8.1	8.1	8.3	8.4
当 た り 職 員 1 人	給水人口(人)	5,651	5,318	4,078	4,073	3,895
	給水量(m <sup>3</sup> )	667,258	625,391	482,924	494,225	467,912
	営業収益(円)	91,396,407	84,576,945	65,919,607	67,483,237	66,255,931
供給単価(円)		124.6	124.3	126.4	126.9	129.5
給水原価(円)		113.9	112.0	110.8	111.1	112.2
販売利益(円)		10.7	12.3	15.6	15.8	17.3
自己資本構成比率(%)		88.8	88.0	87.9	86.0	85.8
固定資産対長期資本比率(%)		80.2	80.2	81.3	82.3	82.4
流動比率(%)		2,739.9	2,129.3	2,685.9	839.8	1,021.7
総資本利益率(%)		0.93	0.99	1.06	1.13	1.31
総収益対総費用比率(%)		114.6	115.6	116.6	117.5	119.8
に 料 金 対 す る 入 率	職員給与費(%)	8.7	9.6	12.2	12.2	12.6
	支払利息(%)	4.3	4.7	5.0	5.3	5.7



# 工業用水道事業会計

## Ⅱ 工業用水道事業会計

### 1 決算の概要及び総括意見

#### (1) 決算の概要

業務実績をみると、給水状況は、給水能力 7,156m<sup>3</sup>に対して基本使用水量(契約水量) 4,410m<sup>3</sup>で、契約率は 61.6%となり、前年度に比べ 2.5ポイント下回っている。また年間総配水量 955,880m<sup>3</sup>、年間総有収水量 950,990m<sup>3</sup>で、有収率は 99.5%となり、前年度に比べ 2.4ポイント上回っている。

経営状況をみると、収益面は、水道事業収益 60,911千円で、前年度に比べ 2,343千円(3.7%)減少している。このうち給水収益は 60,050千円(対水道事業収益比 98.6%)で、前年度に比べ 2,365千円(3.8%)減少している。

一方で費用面は、水道事業費用 38,525千円で、前年度に比べ 1,635千円(4.1%)減少している。減少した主なものは、減価償却費 2,122千円(25.7%)である。

以上の結果、本年度の工業用水道事業の損益収支は、前年度に比べ 707千円(3.1%)減少し、22,386千円の純利益を計上している。

なお、有収水量 1m<sup>3</sup>あたりの収益及び費用をみると、収益(供給単価)は 63.1円、費用(給水原価)は 40.5円で、販売収益は 22.6円となり、前年度に比べ 0.6円(2.6%)減少している。また供給単価率は 155.8%で、前年度に比べ 0.2ポイント上回っている。

資本的支出の状況をみると、建設改良費は 25,898千円(執行率 78.9%)で、本年度は配水管布設替工事を延長 174.9m実施している。

なお、企業債償還金 6,564千円は工業用水道事業企業債の元金償還に要した経費で、工業用水道事業企業債の未償還残高は 3,611千円となった。

#### (2) 総括意見

本年度の工業用水道事業の状況は、駒門工業団地の企業 12社に引き続き安定供給を行っているものの、基本使用水量の減少により給水収益は前年度を下回り、純利益は前年度に比べ 707千円(3.1%)減少している。

基本使用水量及び給水収益は平成21年度に大きく下落して以降、僅かずつではあるが増加傾向にあった。今回基本使用水量が減少した要因は、企業 1社の生産停止(事業所は存続)によるものであり、今後とも景気動向及び企業活動に十分に気を配る必要がある。

純利益の縮小があったものの、各指標は良好な値を維持しており、健全な経営がなされているものと認められる。引き続き事業運営の効率化に取り組み、安定した工業用水道事業の経営に努められたい。

## 2 業務の状況 (付表第4表 業務実績比較表 42頁)

### (1) 工業用水道の給水状況

工業用水道の給水状況は、次のとおりである。

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増減率(%)
給 水 状 況	給 水 能 力 (m <sup>3</sup> /日)	7,156	7,156	0	—
	基 本 使 用 水 量 (m <sup>3</sup> /日)	4,410	4,590	△ 180	△ 3.9
	契 約 率 (%)	61.6	64.1	△ 2.5	—
	事 業 所 数 (社)	12	12	0	—
	年 間 総 配 水 量 (m <sup>3</sup> )	955,880	991,124	△ 35,244	△ 3.6
	年 間 総 有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	950,990	962,402	△ 11,412	△ 1.2
	有 収 率 (%)	99.5	97.1	2.4	—

① 給水能力 7,156m<sup>3</sup>に対し、基本使用水量(契約水量)は 4,410m<sup>3</sup>で、契約率は 61.6%となり、前年度に比べ 2.5ポイント下回っている。

② 事業所数は前年度と同じ 12社である。

年間総配水量は 955,880m<sup>3</sup>、年間総有収水量は 950,990m<sup>3</sup>で、有収率は 99.5%となり、前年度に比べ 2.4ポイント上回っている。

### (2) 工業用水道施設の利用状況

工業用水道施設の利用状況は、次のとおりである。

(単位: m<sup>3</sup>・%)

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増 減 率
施 設 利 用 状 況	1 日 最 大 配 水 量 A	3,372	4,477	△ 1,105	△ 24.7
	1 日 平 均 配 水 量 B	2,619	2,715	△ 96	△ 3.5
	1 日 給 水 能 力 C	7,156	7,156	0	—
	施 設 利 用 率 B/C	36.6	37.9	△ 1.3	—
	負 荷 率 B/A	77.7	60.6	17.1	—
	最 大 稼 働 率 A/C	47.1	62.6	△ 15.5	—

① 施設利用率(給水能力に対する平均配水量の比率で、施設の利用の適正をみる)は 36.6%で、前年度に比べ 1.3ポイント下回っている。

② 負荷率(最大配水量に対する平均配水量の比率で、施設が年間を通じて有効に使用されているかをみる)は 77.7%で、前年度に比べ 17.1ポイント上回っている。

③ 最大稼働率(給水能力に対する最大配水量の比率で、事業所の最大需要期における施設の活用状況をみる)は 47.1%で、前年度に比べ 15.5ポイント下回っている。

### 3 予算の執行状況 (付表第1表 予算執行状況 36頁)

本年度の予算及び決算の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出 (消費税込み)

② 収益的収入の状況は、次のとおりである。

収益的収入の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	収入率			
営 業 収 益	62,534,000	63,051,910	100.8	65,535,281	△ 2,483,371	△ 3.8
給 水 収 益	62,534,000	63,051,910	100.8	65,535,281	△ 2,483,371	△ 3.8
営 業 外 収 益	713,000	861,691	120.9	839,258	22,433	2.7
受 取 利 息	700,000	848,191	121.2	827,258	20,933	2.5
雑 収 益	13,000	13,500	103.8	12,000	1,500	12.5
合 計	63,247,000	63,913,601	101.1	66,374,539	△ 2,460,938	△ 3.7

決算額は 63,914千円で、前年度に比べ 2,461千円(3.7%)減少している。

予算額に対する収入率は 101.1%で、前年度に比べ 0.3ポイント上回っている。

決算額の主なものは、給水収益 63,052千円(構成比 98.7%)である。

③ 収益的支出の状況は、次のとおりである。

収益的支出の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	執行率			
営 業 費 用	44,675,000	38,670,849	86.6	39,896,386	△ 1,225,537	△ 3.1
原 水 ・ 配 水 及 び 給 水 費	36,353,000	30,618,976	84.2	30,369,857	249,119	0.8
総 係 費	2,184,000	1,914,165	87.6	1,266,599	647,566	51.1
減 価 償 却 費	6,138,000	6,137,708	99.9	8,259,930	△ 2,122,222	△ 25.7
営 業 外 費 用	3,476,000	1,623,559	46.7	2,725,803	△ 1,102,244	△ 40.4
企 業 債 利 息	471,000	470,959	99.9	831,103	△ 360,144	△ 43.3
一 時 借 入 金 利 息	5,000	0	—	0	0	—
消 費 税	3,000,000	1,152,600	38.4	1,894,700	△ 742,100	△ 39.2
予 備 費	6,000,000	0	—	0	0	—
合 計	54,151,000	40,294,408	74.4	42,622,189	△ 2,327,781	△ 5.5

決算額は 40,294千円で、前年度に比べ 2,328千円(5.5%)減少している。

予算額に対する執行率は 74.4%で、前年度に比べ 2.0ポイント下回っている。

決算額の主なものは、原水・配水及び給水費 30,619千円(構成比 76.0%)、減価償却費 6,138千円(同 15.2%)である。

予備費(議決予算額 6,000千円)は、本年度は執行がなかった。

(2) 資本的収入及び支出(消費税込み)

① 資本的収入はないため、記載を省略する。

② 資本的支出の状況は、次のとおりである。

資本的支出の状況

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度			平成 24 年 度 決 算 額	決 算 額 比 較 増 減	増 減 率
	予 算 額	決 算 額	執行率			
建設改良費	32,825,000	25,898,140	78.9	13,839,000	12,059,140	87.1
建設改良費	32,825,000	25,898,140	78.9	13,839,000	12,059,140	87.1
企業債償還金	6,565,000	6,564,281	99.9	6,204,137	360,144	5.8
企業債償還金	6,565,000	6,564,281	99.9	6,204,137	360,144	5.8
合 計	39,390,000	32,462,421	82.4	20,043,137	12,419,284	62.0

決算額は 32,462千円で、前年度に比べ 12,419千円(62.0%)増加している。

予算額に対する執行率は 82.4%で、前年度に比べ 15.4ポイント下回っている。

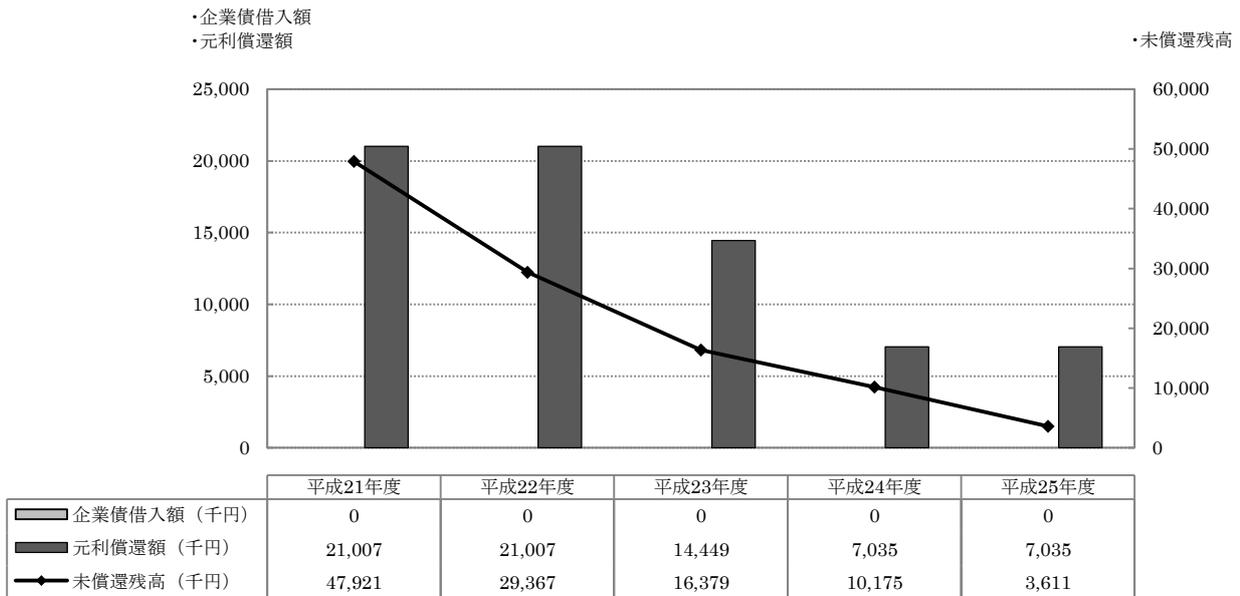
建設改良費は 25,898千円で、前年度に比べ 12,059千円(87.1%)増加している。

企業債償還金(元金)は 6,564千円で、前年度に比べ 360千円(5.8%)増加している。

なお、最近5か年の企業債借入額、償還額、未償還残高(利子を含む)の推移及び平成26年度の償還計画は、次のとおりである。

(単位:円)

年度	借 入 額	償 還 額			未 償 還 残 高
		元 金	利 息	計	
21	0	17,517,067	3,490,163	21,007,230	47,920,500
22	0	18,553,151	2,454,079	21,007,230	29,367,349
23	0	12,988,229	1,461,137	14,449,366	16,379,120
24	0	6,204,137	831,103	7,035,240	10,174,983
25	0	6,564,281	470,959	7,035,240	3,610,702
26		3,610,702	141,420	3,752,122	0



③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 32,462千円は、次の資金により補てんしている。

- ・ 過年度分損益勘定留保資金 24,665千円
- ・ 減債積立金 6,564千円
- ・ 消費税等資本的収支調整額 1,233千円

④ 事業費ごとの工事の主なものは、次のとおりである。

建設改良費

- ・ 市道0134号線配水管布設替工事 16,349千円

(3) その他の予算の執行状況

- ① 業務の予定量は、予算の定めるところにより、予定どおり執行されているものと認められた。
- ② 予算第5条に定められた一時借入金については、借入がなかった。
- ③ 予算第7条に定められた議会の議決を経なければ流用することのできない経費(職員給与費)の流用はなかった。

#### 4 経営成績（付表第2表 比較損益計算書 38頁）

##### (1) 経営状況（消費税抜き）

経営状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年度	平成 24 年度	比 較 増 減	増 減 率
経 常 収 益	60,911,326	63,254,006	△ 2,342,680	△ 3.7
営 業 収 益	60,049,635	62,414,748	△ 2,365,113	△ 3.8
営 業 外 収 益	861,691	839,258	22,433	2.7
経 常 費 用	38,525,378	40,160,656	△ 1,635,278	△ 4.1
営 業 費 用	38,054,419	39,329,553	△ 1,275,134	△ 3.2
営 業 外 費 用	470,959	831,103	△ 360,144	△ 43.3
営 業 利 益	21,995,216	23,085,195	△ 1,089,979	△ 4.7
経 常 利 益	22,385,948	23,093,350	△ 707,402	△ 3.1
特 別 利 益	0	0	0	—
特 別 損 失	0	0	0	—
当 年 度 純 利 益	22,385,948	23,093,350	△ 707,402	△ 3.1

(注) 営業利益 = 営業収益 - 営業費用

経常利益 = 経常収益 - 経常費用

当年度純利益 = 経常利益 + 特別利益 - 特別損失

##### ① 営業収益

営業収益は 60,050千円で、前年度に比べ 2,365千円(3.8%)減少している。  
これは、基本使用水量の減少により給水収益が減少したことによるものである。

##### ② 営業外収益

営業外収益は 862千円で、前年度に比べ 22千円(2.7%)増加している。

##### ③ 営業費用

営業費用は 38,054千円で、前年度に比べ 1,275千円(3.2%)減少している。  
これは、主に減価償却費の減少によるものである。

##### ④ 営業外費用

営業外費用は 471千円で、前年度に比べ 360千円(43.3%)減少している。

経常収益が 60,911千円、経常費用が 38,525千円で、経常利益は 22,386千円となり、特別利益、特別損失が皆無のため、当年度純利益は 22,386千円である。当年度純利益は前年度に比べ 707千円(3.1%)減少している。

(2) 性質別費用の状況（消費税抜き）

費用を性質別に分類して前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
職 員 給 与 費	7,844,800	20.4	7,950,951	19.8	△ 106,151	△ 1.3
修 繕 費	11,145,762	28.9	12,447,260	31.0	△ 1,301,498	△ 10.5
動 力 費	9,102,432	23.6	8,008,055	19.9	1,094,377	13.7
委 託 料	1,247,923	3.2	737,438	1.8	510,485	69.2
負 担 金	2,019,020	5.3	1,427,140	3.6	591,880	41.5
減 価 償 却 費	6,137,708	15.9	8,259,930	20.6	△ 2,122,222	△ 25.7
支 払 利 息	470,959	1.2	831,103	2.1	△ 360,144	△ 43.3
そ の 他 の 経 費	556,774	1.5	498,779	1.2	57,995	11.6
合 計	38,525,378	100.0	40,160,656	100.0	△ 1,635,278	△ 4.1

性質別費用の総額は 38,525千円で、前年度に比べ 1,635千円(4.1%)減少している。

性質別費用の主なものは、修繕費 11,146千円(構成比 28.9%)、動力費 9,102千円(同 23.6%)、職員給与費 7,845千円(同 20.4%)、減価償却費 6,138千円(同 15.9%)である。

減少した主なものは、減価償却費 2,122千円(25.7%)、修繕費 1,301千円(10.5%)である。

増加した主なものは、動力費 1,094千円(13.7%)である。

(3) 有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益及び費用（消費税抜き）

有収水量1m<sup>3</sup>当たりの収益(供給単価)及び費用(給水原価)について前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度	比較増減	増減率
収益(供給単価) A	63.1	64.9	△ 1.8	△ 2.8
費用(給水原価) B	40.5	41.7	△ 1.2	△ 2.9
販 売 収 益 A-B	22.6	23.2	△ 0.6	△ 2.6
供 給 単 価 率 A/B	155.8	155.6	0.2	—

(注) 収益(供給単価) = 給水収益 / 有収水量

費用(給水原価) = (総費用 - 附帯事業費) / 有収水量

供給単価率 = 収益(供給単価) / 費用(給水原価)

(供給単価と給水原価の関係をみる。100%以上がよい。)

## 5 財政状態（付表第3表 比較貸借対照表 40頁、付表第5表 経営分析比較表 42頁）

### (1) 資産

資産の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	平成25年度	平成24年度	比較増減額	増減率
固 定 資 産	294,743,539	276,216,352	18,527,187	6.7
有 形 固 定 資 産	294,743,539	276,216,352	18,527,187	6.7
流 動 資 産	408,706,233	390,697,212	18,009,021	4.6
現 金 預 金	408,368,238	390,479,652	17,888,586	4.6
未 収 金	337,995	217,560	120,435	55.4
資 産 合 計	703,449,772	666,913,564	36,536,208	5.5

資産の総額は703,450千円で、前年度に比べ36,536千円(5.5%)増加している。

資産の内容は、次のとおりである。

#### ① 固定資産

固定資産は294,744千円で、前年度に比べ18,527千円(6.7%)増加している。

これは、減価償却による減少に対し、配水管布設等整備事業に係る配水管の増加及び配水地施設等整備事業に係るその他機械の増加が上回ったことによるものである。

#### ② 流動資産

流動資産は408,706千円で、前年度に比べ18,009千円(4.6%)増加している。

これは、定期預金の積増し等による現金預金の増加が要因である。

ア 未収金は工業用水道料金338千円で、前年度に比べ120千円(55.4%)増加しているが、いずれも当該企業の会計処理上の都合によるものであり、平成26年4月中に収納された。

## (2) 負債及び資本

負債及び資本の状況を前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度	平成 24 年 度	比 較 増 減 額	増 減 率
固 定 負 債	51,000,000	40,000,000	11,000,000	27.5
修 繕 引 当 金	51,000,000	40,000,000	11,000,000	27.5
退 職 給 与 引 当 金	0	0	0	—
流 動 負 債	12,579,979	2,865,438	9,714,541	339.0
未 払 金	11,579,979	1,865,438	9,714,541	520.8
預 り 保 証 金	1,000,000	1,000,000	0	—
負 債 合 計	63,579,979	42,865,438	20,714,541	48.3
資 本 金	203,221,058	203,221,058	0	—
自 己 資 本 金	199,610,356	193,046,075	6,564,281	3.4
借 入 資 本 金	3,610,702	10,174,983	△ 6,564,281	△ 64.5
剰 余 金	436,648,735	420,827,068	15,821,667	3.8
資 本 剰 余 金	138,666,400	138,666,400	0	—
利 益 剰 余 金	297,982,335	282,160,668	15,821,667	5.6
資 本 合 計	639,869,793	624,048,126	15,821,667	2.5
負 債 ・ 資 本 合 計	703,449,772	666,913,564	36,536,208	5.5

負債の総額は 63,580千円で、前年度に比べ 20,715千円(48.3%)増加している。

負債の内容は次のとおりである。

### ① 固定負債

固定負債は修繕引当金 51,000千円で、前年度に比べ 11,000千円(27.5%)増加している。

### ② 流動負債

流動負債は 12,580千円で、前年度に比べ 9,715千円(339.0%)増加している。

これは、市道0134号線配水管布設替工事の完成が3月末であったことから、前年度に比べ未払金が増加したことによるものである。

資本の総額は 639,870千円で、前年度に比べ 15,822千円(2.5%)増加している。

資本の内容は次のとおりである。

③ 資本金

資本金は 203,221千円で、前年度と同額である。

これは、企業債の返還により借入資本金を減額し、同額を自己資本金としたものである。

④ 剰余金

剰余金は 436,649千円で、前年度に比べ 15,822千円(3.8%)増加している。

ア 資本剰余金は 138,666千円で、前年度と同額である。

イ 利益剰余金は 297,982千円で、前年度に比べ 15,822千円(5.6%)増加している。

増加したものは、建設改良積立金 23,093千円(9.7%)である。

減少した主なものは、減債積立金 6,564千円(64.8%)である。

(3) 経営分析比率

財務比率の主な指標は、次のとおりである。

(単位:%)

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度
自己資本構成比率	90.4	92.0	92.4
固定資産対長期資本比率	42.7	41.6	42.6
流動比率	3,248.9	13,636.9	12,133.7

(注) 自己資本構成比率 = 自己資本 / 負債資本合計 × 100

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 固定負債) × 100

流動比率 = 流動資産 / 流動負債 × 100

- ① 自己資本構成比率(総資本に対する自己資本の割合をみる。比率は高いほど経営の安定性が高い。)は 90.4%で、前年度に比べ 1.6ポイント下回っている。
- ② 固定資産対長期資本比率(固定資産の財源構成をみる。100%を超えた場合は過大投資の傾向にある。)は 42.7%で、前年度に比べ 1.1ポイント上回っている。
- ③ 流動比率(企業の支払能力をみる。比率は高いほど良く、200%以上が適正である。)は 3,248.9%で、前年度に比べ 10,388.0ポイント下回っている。

## 工業用水道事業会計付表 目次

付表第1表	予 算 執 行 状 況	-----	36 頁
付表第2表	比 較 損 益 計 算 書	-----	38
付表第3表	比 較 貸 借 対 照 表	-----	40
付表第4表	業 務 実 績 比 較 表	-----	42
付表第5表	経 営 分 析 比 較 表	-----	42

付表第1表 予算執行状況

(1) 収益的収支

収入 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度				平成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構成比	収入率	決 算 額	構成比	収入率
営 業 収 益	62,534,000	63,051,910	98.7	100.8	65,535,281	98.7	100.7
給 水 収 益	62,534,000	63,051,910	98.7	100.8	65,535,281	98.7	100.7
営 業 外 収 益	713,000	861,691	1.3	120.9	839,258	1.3	113.7
受 取 利 息	700,000	848,191	1.3	121.2	827,258	1.2	114.1
雑 収 益	13,000	13,500	0.0	103.8	12,000	0.0	92.3
合 計	63,247,000	63,913,601	100.0	101.1	66,374,539	100.0	100.8

支出 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平成 25 年 度				平成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構成比	執行率	決 算 額	構成比	執行率
営 業 費 用	44,675,000	38,670,849	96.0	86.6	39,896,386	93.6	86.8
原水・配水及び給水費	36,353,000	30,618,976	76.0	84.2	30,369,857	71.2	83.6
総 係 費	2,184,000	1,914,165	4.8	87.6	1,266,599	3.0	91.8
減 価 償 却 費	6,138,000	6,137,708	15.2	99.9	8,259,930	19.4	99.9
営 業 外 費 用	3,476,000	1,623,559	4.0	46.7	2,725,803	6.4	71.0
企 業 債 利 息	471,000	470,959	1.2	99.9	831,103	2.0	99.9
一 時 借 入 金 利 息	5,000	0	—	—	0	—	—
消 費 税	3,000,000	1,152,600	2.8	38.4	1,894,700	4.4	63.2
予 備 費	6,000,000	0	—	—	0	—	—
合 計	54,151,000	40,294,408	100.0	74.4	42,622,189	100.0	76.4

## (2) 資本的収支

補てん財源 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平 成 25 年 度				平 成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	収 入 率	決 算 額	構 成 比	収 入 率
補 て ん 財 源	0	32,462,421	100.0	—	20,043,137	100.0	—
過年度分損益勘定留保資金	—	24,664,895	76.0	—	13,180,000	65.8	—
当年度分損益勘定留保資金	—	0	—	—	0	—	—
減 債 積 立 金	—	6,564,281	20.2	—	6,204,137	30.9	—
利 益 積 立 金	—	0	—	—	0	—	—
建 設 改 良 積 立 金	—	0	—	—	0	—	—
消費税等資本的収支調整額	—	1,233,245	3.8	—	659,000	3.3	—
合 計	0	32,462,421	100.0		20,043,137	100.0	

## 支 出 (消費税を含む)

(単位:円・%)

区 分	平 成 25 年 度				平 成 24 年 度		
	予 算 額	決 算 額	構 成 比	執 行 率	決 算 額	構 成 比	執 行 率
建 設 改 良 費	32,825,000	25,898,140	79.8	78.9	13,839,000	69.0	96.9
建設改良費	32,825,000	25,898,140	79.8	78.9	13,839,000	69.0	96.9
企 業 債 償 還 金	6,565,000	6,564,281	20.2	99.9	6,204,137	31.0	99.9
企業債償還金	6,565,000	6,564,281	20.2	99.9	6,204,137	31.0	99.9
合 計	39,390,000	32,462,421	100.0	82.4	20,043,137	100.0	97.8

付表第2表 比較損益計算書

収 益 の 部						
区 分	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
営 業 収 益	60,049,635	98.6	62,414,748	98.7	△ 2,365,113	△ 3.8
給 水 収 益	60,049,635	98.6	62,414,748	98.7	△ 2,365,113	△ 3.8
そ の 他 営 業 収 益	0	—	0	—	0	—
営 業 外 収 益	861,691	1.4	839,258	1.3	22,433	2.7
受 取 利 息	848,191	1.4	827,258	1.3	20,933	2.5
雑 収 益	13,500	0.0	12,000	0.0	1,500	12.5
特 別 利 益	0	—	0	—	0	—
合 計	60,911,326	100.0	63,254,006	100.0	△ 2,342,680	△ 3.7

(単位:円・%)

費用の部						
区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較 増 減	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
営 業 費 用	38,054,419	98.8	39,329,553	97.9	△ 1,275,134	△ 3.2
原水・配水及び給水費	30,063,769	78.1	29,833,392	74.3	230,377	0.8
総 係 費	1,852,942	4.8	1,236,231	3.1	616,711	49.9
減 価 償 却 費	6,137,708	15.9	8,259,930	20.5	△ 2,122,222	△ 25.7
資 産 減 耗 費	0	—	0	—	0	—
そ の 他 営 業 費 用	0	—	0	—	0	—
営 業 外 費 用	470,959	1.2	831,103	2.1	△ 360,144	△ 43.3
支 払 利 息	470,959	1.2	831,103	2.1	△ 360,144	△ 43.3
雑 支 出	0	—	0	—	0	—
特 別 損 失	0	—	0	—	0	—
小 計	38,525,378	100.0	40,160,656	100.0	△ 1,635,278	△ 4.1
当 年 度 純 利 益	22,385,948	—	23,093,350	—	△ 707,402	△ 3.1
合 計	60,911,326	—	63,254,006	—	△ 2,342,680	△ 3.7

※金額は消費税を含まず

付表第3表 比較貸借対照表

資 産 の 部						
区 分	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
固 定 資 産	294,743,539	41.9	276,216,352	41.4	18,527,187	6.7
有 形 固 定 資 産	294,743,539	41.9	276,216,352	41.4	18,527,187	6.7
土 地	60,888,400	8.7	60,888,400	9.1	0	—
建 物	11,280,978	1.6	11,830,856	1.8	△ 549,878	△ 4.6
構 築 物	175,205,234	24.9	161,532,339	24.2	13,672,895	8.5
機 械 及 び 装 置	37,670,227	5.3	32,266,057	4.8	5,404,170	16.7
車 両 運 搬 具	52,340	0.0	52,340	0.0	0	—
工 具、器 具 及 び 備 品	36,720	0.0	36,720	0.0	0	—
建 設 仮 勘 定	9,609,640	1.4	9,609,640	1.5	0	—
流 動 資 産	408,706,233	58.1	390,697,212	58.6	18,009,021	4.6
現 金 預 金	408,368,238	58.1	390,479,652	58.6	17,888,586	4.6
現 金	0	—	0	—	0	—
預 金	408,368,238	58.1	390,479,652	58.6	17,888,586	4.6
未 収 金	337,995	0.0	217,560	0.0	120,435	55.4
営 業 未 収 金	337,995	0.0	217,560	0.0	120,435	55.4
資 産 合 計	703,449,772	100.0	666,913,564	100.0	36,536,208	5.5

(単位:円・%)

負債及び資本の部						
区 分	平成 25 年 度		平成 24 年 度		比 較 増 減	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
負 債 合 計	63,579,979	9.0	42,865,438	6.4	20,714,541	48.3
固 定 負 債	51,000,000	7.2	40,000,000	6.0	11,000,000	27.5
修 繕 引 当 金	51,000,000	7.2	40,000,000	6.0	11,000,000	27.5
退 職 給 与 引 当 金	0	—	0	—	0	—
流 動 負 債	12,579,979	1.8	2,865,438	0.4	9,714,541	339.0
未 払 金	11,579,979	1.7	1,865,438	0.3	9,714,541	520.8
預 り 保 証 金	1,000,000	0.1	1,000,000	0.1	0	—
資 本 合 計	639,869,793	91.0	624,048,126	93.6	15,821,667	2.5
資 本 金	203,221,058	28.9	203,221,058	30.5	0	—
自 己 資 本 金	199,610,356	28.4	193,046,075	29.0	6,564,281	3.4
借 入 資 本 金	3,610,702	0.5	10,174,983	1.5	△ 6,564,281	△ 64.5
剰 余 金	436,648,735	62.1	420,827,068	63.1	15,821,667	3.8
資 本 剰 余 金	138,666,400	19.7	138,666,400	20.8	0	—
受 贈 財 産 ・ 寄 附 金	138,666,400	19.7	138,666,400	20.8	0	—
利 益 剰 余 金	297,982,335	42.4	282,160,668	42.3	15,821,667	5.6
減 債 積 立 金	3,559,951	0.5	10,124,232	1.5	△ 6,564,281	△ 64.8
利 益 積 立 金	12,000,000	1.7	12,000,000	1.8	0	—
建 設 改 良 積 立 金	260,036,436	37.0	236,943,086	35.5	23,093,350	9.7
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	22,385,948	3.2	23,093,350	3.5	△ 707,402	△ 3.1
負 債 ・ 資 本 合 計	703,449,772	100.0	666,913,564	100.0	36,536,208	5.5

付表第4表 業務実績比較表

区 分	平成25年度			平成24年度	平成23年度	
	業務量等	比較増減	増減率(%)			
給水能力 (m <sup>3</sup> /日)	7,156	0	—	7,156	7,156	
基本使用水量(契約水量) (m <sup>3</sup> /日)	4,410	△ 180	△ 3.9	4,590	4,590	
契約率 (%)	61.6	△ 2.5	—	64.1	64.1	
給水事業所数 (社)	12	0	—	12	12	
年間総配水量 (m <sup>3</sup> )	955,880	△ 35,244	△ 3.6	991,124	976,650	
年間総給水量 (m <sup>3</sup> )	950,990	△ 11,412	△ 1.2	962,402	946,346	
「口径別内訳」	50mm (m <sup>3</sup> )	13,777	△ 1,544	△ 10.1	15,321	18,919
	75mm (m <sup>3</sup> )	22,042	△ 5,485	△ 19.9	27,527	20,648
	100mm (m <sup>3</sup> )	745,585	4,147	0.6	741,438	727,266
	150mm (m <sup>3</sup> )	169,586	△ 8,530	△ 4.8	178,116	179,513
年間総有収水量 (m <sup>3</sup> )	950,990	△ 11,412	△ 1.2	962,402	946,346	
有収率 (%)	99.5	2.4	—	97.1	96.9	
導配水管延長 (m)	5,052.5	0.0	—	5,052.5	4,896.6	
職員数 (人)	1	0	—	1	1	

付表第5表 経営分析比較表

区 分	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
施設利用率 (%)	36.6	37.9	37.3	37.4	36.7	
最大稼働率 (%)	47.1	62.6	50.0	51.6	48.9	
負荷率 (%)	77.7	60.6	74.6	72.5	74.9	
供給単価 (円)	63.1	64.9	65.1	62.2	63.2	
給水原価 (円)	40.5	41.7	49.8	44.9	48.7	
販売利益 (円)	22.6	23.2	15.3	17.3	14.5	
自己資本構成比率 (%)	90.4	92.0	92.4	91.6	90.1	
固定資産対長期資本比率 (%)	42.7	41.6	42.6	45.1	48.2	
流動比率 (%)	3,248.9	13,636.9	12,133.7	11,010.2	9,962.2	
総資本利益率 (%)	3.3	3.5	2.5	2.9	2.4	
総収益対総費用比率 (%)	158.1	157.5	133.0	141.7	132.5	
に料金 対収入 率	職員給与 (%)	13.1	12.7	12.8	13.2	17.4
	支払利息 (%)	0.8	1.3	2.4	4.2	6.0